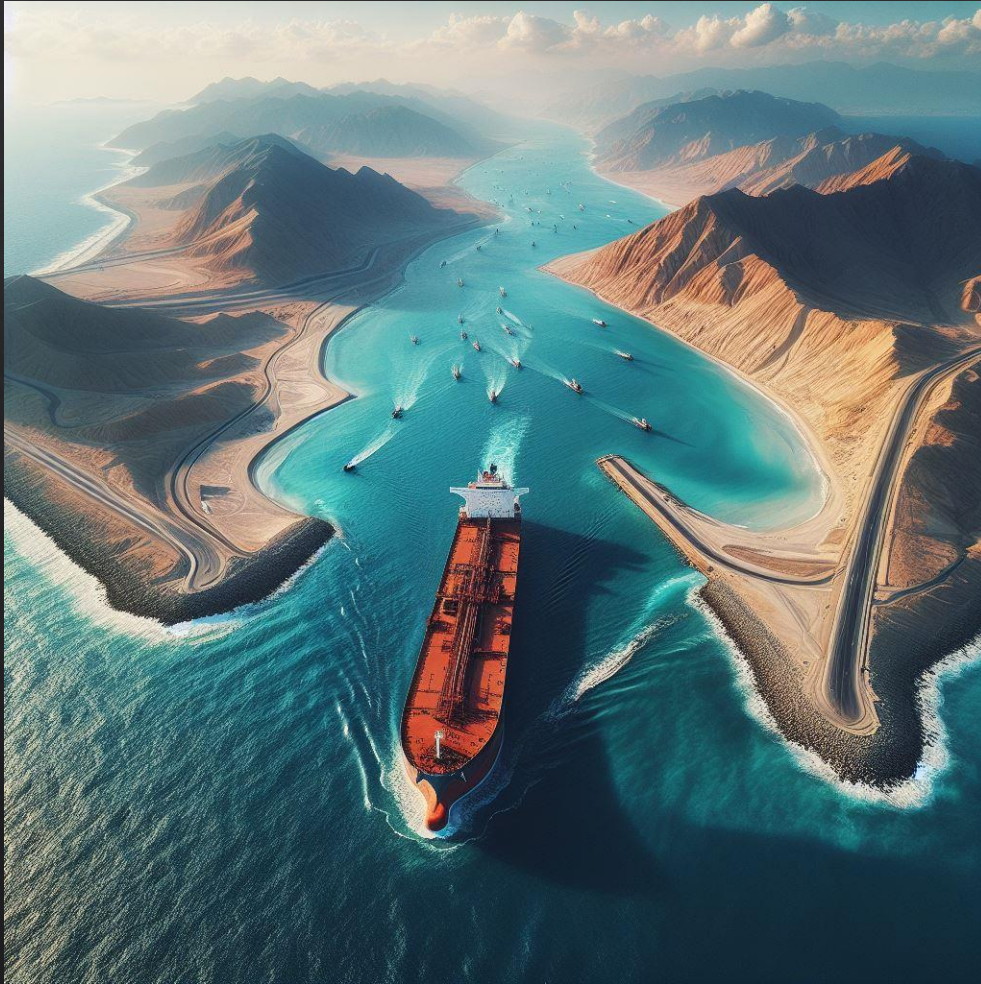


On-Demand  
Courses



## ホルムズ海峡と 日本のエネルギー資源輸送

講師: 大河内美香

日本は原油・天然ガス等のエネルギー資源を輸入していますが、原油の90%以上を中東に依存し、海運が輸送を担っています。



## 大河内美香先生

### 【略歴】

立教大学法学部国際・比較法学科卒業

立教大学大学院博士前期課程民刑事法専攻修了

パリ第2大学法学部(Panthéon-Assas)第3課程(D.S.U)修了

2005年から現在 国立大学法人東京海洋大学学術研究院海洋政策文化学部門准教授

専門:国際法、海洋法、海事法

### 【著作】

・「石油ガス開発—ヤマルLNGプロジェクトにおける安全管理システム—」『日本海洋政策学会誌』 第10号、2020年11月。

・「大陸棚境界画定紛争の解決における大陸棚資源開発権の意義」『日本海洋政策学会誌』 第8号、2018年11月。

※その他学術論文、多数

ようこそ Kimiyacastへ♥

このカタログでは、オンデマンドコースの授業について紹介します。講義を通じて、私たちの経済に大きな影響をもたらす海上輸送に関する理解を深めましょう。

講義テーマ：

## 「ホルムズ海峡と日本のエネルギー資源輸送」

1953年、原油タンカー日昇丸は、遙かペルシア湾アーバーダーン港へと旅立ち、イランより貴重なる石油を日本の地にもたらすことに成功しました。そしてこの功績は、戦後復興期の日本において、エネルギーの大動脈・オイルロードであるホルムズ海峡を通じた中東からの資源輸送の重要性を周知のものとなりました。本講義では、大河内美香先生が、日本の生命線とも言うべき海峡の重要性、及び中東からのエネルギー資源調達の背景と仕組みについてお話します。

## 講義の目的と内容



### 【講義の目的】

日本のエネルギー資源輸送にとって不可欠の海上輸送路である国際海峡について理解し、日本への資源輸送の安全に関する仕組みと課題を理解します。

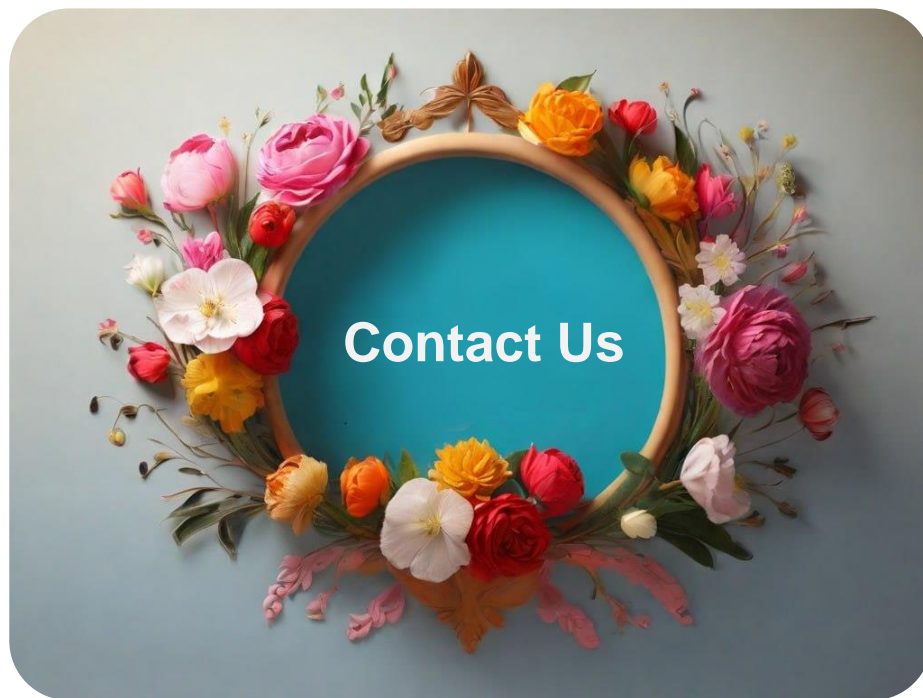
### 【講義の内容】

中東原油の輸送のために日本が通航するホルムズ海峡を素材として、海上輸送の安全のための国際的な仕組みと日本の取組みを学習します。国際海峡や通航権等のキーワードを手掛かりに、モジュール1(基礎知識:国際海峡)、モジュール2(発展問題:航行の安全の国際規則)、モジュール3(応用問題:航行の安全の日本の取組み)を順番に学習する方法により、基礎知識から専門知識まで理解できるように構成されています。

概要	
講義名	ホルムズ海峡と日本のエネルギー資源輸送
クラスコード	OND002
講義形式	オンデマンド
フォーマット	音声 (MP3)
トラック数	3
時間	60分
言語	日本語
カテゴリ	法律/経済
データ公開開始日	2024年6月2日
データ公開終了日	2027年6月2日
データ公開期間	3年
教材	本講義には、PDFファイルが1つ用意されています。
料金 (税込)	¥1,500
備考	特になし

## カリキュラム

No.	タイトル	時間
1	はじめに	6:36”
2	モジュール 1 : 基礎知識:ホルムズ海峡というチョーク・ポイント	17:22”
3	モジュール 2 : 発展問題:航行の安全のための国際的取組み	18:37”
4	モジュール 3 : 応用問題:資源輸送の安全のための日本の取組み	18:06”
5	おわりに	6:02”



[www.kimiyacast.com](http://www.kimiyacast.com)



ホーム



お問い合わせ